

## 北九州市感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第31週(令和7年7月28日～令和7年8月3日)

## &lt;発生動向&gt;

第31週は、結核の報告が8件ありました。結核は、高齢者の報告が多いですが、20代の外国生まれの患者の報告が増えています。結核の主な症状は咳や痰、発熱等で風邪の症状に似ていますが、風邪との違いは症状が数週間続き、治ったと思ったらまた繰り返すことです。結核を発症しても、早期に発見することで、大切な家族や友人等への感染を防ぐことができます。2週間以上、咳や痰が続く時は医療機関を受診しましょう。また、年に1回は胸部エックス線検査を受けましょう。

伝染性紅斑の定点当たりの報告数は2.77で警報レベルが7週続いています。

また、新型コロナウイルス感染症の定点当たりの報告数は、7.13と先週より増加しています。咳エチケットやこまめな手洗い、マスク着用など基本的な感染予防をお願いします。

## ■ 全数把握疾患報告

病名	北九州市		福岡県		全国(前週)	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	8	107	17	436	183	7,888
腸管出血性大腸菌感染症	3	12	11	121	152	1,500
百日咳	10	259	106	2,322	3,399	56,664

## ■ 定点把握疾患報告数

病名	北九州市			福岡県		全国(前週)	
	報告数	定点当たり	定点当たり(前週)	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	164	7.13	6.22	894	7.33	15,924	4.12
インフルエンザ	8	0.35	0.78	46	0.38	1,223	0.32
急性呼吸器感染症	1366	59.39	42.70	5,954	48.80	185,656	48.20
RSウイルス感染症	18	1.38	0.54	123	1.76	1,239	0.53
咽頭結膜熱	10	0.77	0.92	42	0.60	1,061	0.45
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37	2.85	2.62	170	2.43	3,775	1.60
感染性胃腸炎	100	7.69	6.62	415	5.93	9,880	4.19
水痘	3	0.23	0.00	26	0.37	799	0.34
手足口病	4	0.31	0.46	28	0.40	1,380	0.59
伝染性紅斑	36	2.77	2.15	241	3.44	4,423	1.88
突発性発しん	9	0.69	0.54	34	0.49	785	0.33
ヘルパンギーナ	19	1.46	1.85	51	0.73	3,852	1.63
流行性耳下腺炎	0	0.00	0.08	4	0.06	125	0.05
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	1	0.04	10	0.01
流行性角結膜炎	0	0.00	0.33	14	0.54	580	0.83
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	4	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	1	0.07	32	0.07
マイコプラズマ肺炎	6	3.00	4.50	12	0.80	401	0.83
クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	0	0.00	4	0.01
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.50	0	0.00	9	0.02

※データは速報値として公開するものであり、後日修正される場合があります。

※全国のデータについては、更新時期が北九州市および福岡県の翌週となるため、前週の情報を掲載しています。

○北九州市感染症情報ホームページ(<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/18300149.html>)もご参照下さい。